

# JEF 馬場馬術競技 第5課目 2009

時間 6'30''(参考時間)

競技会名	日付	審判員名	審判員位置	
------	----	------	-------	--

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A 収縮駆歩で入場 X 停止一不動一敬礼 収縮速歩で発進	10					入場(真直性) 停止(不動) 駆歩から停止と 停止から速歩への移行	
2.	C 右手前蹄跡に入る MB 右肩を内へ	10					馬体の角度と屈曲 収縮、整正	
3.	BX 右へ直径10mの半輪乗り XE 続いて、左へ直径10mの半輪乗り	10					半輪乗りの整正 態勢の変化	
4.	EK 左肩を内へ KAFP 収縮速歩	10					馬体の角度と屈曲 収縮、整正	
5.	PI 左へハーフパス C 右手前蹄跡に入る	10					正確と整正 頭頸の態勢と馬体の屈曲、平衡	
6.	MF 中間速歩 FAKV 収縮速歩	10					歩巾の伸展と運歩の整正 移行	
7.	VI 右へハーフパス C 左手前蹄跡に入る	10					正確と整正 頭頸の態勢と馬体の屈曲、平衡	
8.	HS 中間常歩 SF 伸長常歩 FA 中間常歩	10			2		歩巾の伸長とフレームの伸展 運歩の整正 移行	
9.	A 収縮常歩 K 右へ回転 DF間 右へ半ピルーエット	10					移行 運歩の整正 半ピルーエットの整正	
10.	DK間 左へ半ピルーエット	10					半ピルーエットの整正	
11.	KD(F)(K)D 収縮常歩	10					歩巾の短縮と運歩の高揚 頭頸の態勢と運歩の整正	
12.	D 左収縮駆歩で発進 F 左へ回転	10					沈着なる駆歩発進	
13.	PI 左へハーフパス I 踏歩変換	10					正確と整正 頭頸の態勢と馬体の屈曲、平衡 踏歩変換	
14.	C 右手前蹄跡に入る B 右へ直径20mの輪乗り、中間駆歩 BPFAKV 収縮駆歩	10					歩巾の伸展、平衡 馬体の屈曲 移行	
15.	VI 右へハーフパス I 踏歩変換	10					正確と整正 頭頸の態勢と馬体の屈曲、平衡 踏歩変換	
16.	C 左手前蹄跡に入る S 収縮駆歩でLに向って進む SL間 左へワーキング・半ピルーエット	10			2		収縮、整正 平衡と頭頸の態勢	

※ワーキング・ピルーエット:馬体の収縮度とエンゲイジメントの始まりを示す馬の態勢の現れと

その図形の大きさを直径2mまでの大きさで行う収縮駆歩ピルーエット。

JEF 馬場馬術競技 第5課目 2009

出番順

競技者名

所屬

馬名

順序		運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
17.	SHC C CMR	反対駆歩 踏歩変換 収縮駆歩	10					反対駆歩の整正 踏歩変換	
18.	R RL間	収縮駆歩でLに向って進む 右ヘワーキング・半ピルエット	10			2		収縮、整正 平衡と頭頸の態勢	
19.	RMC C CH	反対駆歩 踏歩変換 収縮駆歩	10					反対駆歩の整正 踏歩変換	
20.	HXF	斜手前変換、伸長駆歩	10					歩巾の伸長、平衡と真直性	
21.	F FAK	収縮駆歩への移行と踏歩変換 収縮駆歩	10					移行、踏歩変換	
22.	KXM	斜線上4歩毎の踏歩変換3回	10					正確、平衡と真直性、 流暢、踏歩変換	
23.	CH HXF FA	収縮速歩 伸長速歩 収縮速歩	10					移行 歩巾の伸長とフレームの伸展 運歩の整正	
24.	A X	中央線上に入る 停止-不動-敬礼	10					真直性 停止(不動)	
		手綱を伸ばした常歩でAより退場							
			計	270					

総合観察

1. ペース(自由自在に変じ、かつ整正であること)
  2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後躯のエンゲイジメント)
  3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和 軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
  4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条の6.1を参照

1回目 = 2点減

2回目 = 4点減

## 3回目 = 失 権

### 3. 反映

430条6.2を参照

11 / 14

計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
330					
1回目 2回目 3回目					
			最終得点率%:		

審判員署名